

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-527250 (P2005-527250A)
 【公表日】平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-036
 【出願番号】特願 2003-528277 (P2003-528277)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 S

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

再締結可能な吸収性衣類を製造する方法であって、

機械方向に連続する身体パネルウェブを移動させ、

前記機械方向に沿って間隔をおいて配置され、各々が前記機械方向に沿って間隔をおいて配置された第 1 及び第 2 端部を備える複数の個別の締結部品を、前記身体パネルウェブに順次に固定取り付けし、

前記身体パネルウェブと前記締結部品の各々とを、前記締結部品の各々の前記第 1 端部及び第 2 端部の間の位置で横方向に沿って順次に切断し、それにより各々が両側の側縁と複数のファスナ部材の対とを備える複数の個別の身体パネルを形成する、

ことを含み、前記ファスナ部材の対の各々における前記ファスナ部材は、前記複数の身体パネルの 1 つと、次に続く身体パネルに固定取り付けされ、前記複数の身体パネルの各々は、対応する個々の再締結可能な吸収性衣類の一部を形成し、該衣類に関連付けられることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記複数の締結部品の各々は、前記第 1 及び第 2 端部の少なくとも両方の近傍に形成された再締結可能部分を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記身体パネルウェブを前記複数の締結部品の各々の再締結可能部分に解放可能に係合させることをさらに含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記身体パネルウェブと前記締結部品の各々とを、前記締結部品の前記第 1 及び第 2 端部の間の前記位置で前記横方向に沿って順次に切断することが、複数の第 1 位置で前記身体パネルウェブを順次に切断し、前記締結部品の前記再締結可能部分をもつ前記身体パネルウェブの前記解放可能な係合部の各々と、前記締結部品をもつ前記身体パネルウェブの前記固定取付部の各々との間の複数の第 2 位置で、前記横方向に沿って前記身体パネルウェブを順次に切断することを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 2 位置で前記身体パネルウェブを順次に切断することが、前記複数の締結部品を

前記身体パネルウェブに固定取り付けする前に、前記第 2 位置で前記身体パネルウェブを順次に切断することを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 2 位置で前記身体パネルウェブを順次に切断することが、前記第 2 位置で前記身体パネルウェブを順次に穿孔することを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記身体パネルウェブは前身体パネルウェブを含むことを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記複数の締結部品の各々は、前記再締結可能部分を支持する保持部材を備えることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 9】

前記保持部材の少なくとも一部は弾性を付与されたものであることを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記保持部材の各々は横方向の幅を有し、前記方法は、前記保持部材の幅を変えることをさらに含み、前記保持部材は、第 1 の幅を有する保持部材の第 1 の群と、第 2 の幅を有する保持部材の第 2 の群とを含み、前記第 1 の幅は前記第 2 の幅より大きいことを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記再締結可能部分はフック材料を含むことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 12】

前記締結部品の各々は第 1 及び第 2 側部を有し、前記第 1 側部は前記身体パネルウェブに固定取り付けされ、前記第 2 側部は前記再締結可能部分を備え、前記再締結可能部分は前記身体パネルウェブから遠い方に面することを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 13】

前記第 1 側部の全体が、前記身体パネルウェブに固定取り付けされることを特徴とする請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記締結部品の各々は第 1 及び第 2 側部を備え、前記第 1 側部は、前記身体パネルウェブに面し固定取り付けされた部分を備え、前記第 1 側部はさらに前記再締結可能部分を備えることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 15】

前記身体パネルウェブは前身体パネルウェブを含み、第 2 身体パネルウェブを前記機械方向に移動することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 16】

前記身体パネルウェブは前身体パネルウェブを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】

前記身体パネルウェブは第 1 身体パネルウェブを含み、第 2 連続身体パネルウェブと複数の個別の股部とを前記機械方向に移動させることをさらに含み、前記複数の股部は前記機械方向に沿って離間され、前記連続する第 1 及び第 2 身体パネルウェブの間を延びる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 18】

前記連続する第 1 及び第 2 身体パネルウェブが互いに対向するように前記股部を折畳むことをさらに含む、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記機械方向に沿って間隔をおいて位置する複数の横方向の取り付け位置で前記第 1 及び第 2 身体パネルウェブを順次に取り付け、それにより前記機械方向に沿って間隔をおいて位置する複数の横方向側部シームを形成することをさらに含む、請求項 18 に記載の方

法。

【請求項 20】

前記横方向に沿って前記第 1 及び第 2 身体パネルウェブを順次に取り付けることと、前記複数の締結部品を前記第 1 身体パネルウェブに順次に固定取り付けすることは、同時に行われることを特徴とする請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

前記身体パネルウェブと前記締結部品の各々を前記横方向に沿って順次に切断することが、前記第 1 及び第 2 身体パネルウェブと前記締結部品の各々を前記横方向に沿って前記側部シームで順次に切断することを含む、請求項 19 に記載の方法。

【請求項 22】

複数の個別の延長パネルを取付位置で前記第 2 身体パネルウェブに順次に固定取り付けし、前記第 2 身体パネルウェブと前記個別の延長パネルを前記横方向に沿って前記取付位置で順次に切断し、それにより、各々が両側の側縁と前記両側の側縁の一方に沿って前記第 2 身体パネルにそれぞれ固定された複数の延長部材とを備える複数の個別の第 2 身体パネルを形成することをさらに含む、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 23】

前記身体パネルウェブと前記締結部品の各々を前記横方向に沿って順次に切断することが、前記横方向に沿って蛇行した切断部を形成することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 24】

第 1 及び第 2 の両側の側縁を有する第 1 身体パネルと、

第 1 及び第 2 の両側の側縁を有する第 2 身体パネルと、

前記第 1 及び第 2 身体パネルの間を延びる股部と、

前記第 1 身体パネルの前記第 1 及び第 2 の両側の側縁にしっかりと固定され、そこから外方に延び、各々が再締結可能部分を備える少なくとも第 1 及び第 2 ファスナ部材と、

前記第 2 身体パネルの前記第 1 及び第 2 の両側の側縁にしっかりと固定され、そこから外方に延びる第 1 及び第 2 の延長部材と、

を備え、前記第 1 ファスナ部材の前記再締結可能部分は、前記第 1 延長部材に解放可能に係合し、前記第 2 ファスナ部材の前記再締結可能部分は、前記第 2 延長部材に解放可能に係合することを特徴とする再締結可能な吸収性衣類。

【請求項 25】

前記再締結可能部分はフック材料を含むことを特徴とする請求項 24 に記載の方法。